

<p style="text-align: center;">実用技術英語 (Practical English for Electronics and Information Engineering) (工業外国語系)</p>	<p style="text-align: center;">1 年・後期・2 単位・選択 システム創成工学専攻・A E, A I コース 担当 平井 誠</p>	
	<p style="text-align: center;">〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 D-1 (80 %), C-2 (20 %)</p>	<p style="text-align: center;">〔JABEE 基準〕 d-2a, f</p>
<p>〔教育方法等〕 概要： グローバル化の潮流のもとで、研究者および技術者間の英語コミュニケーション能力は実用上必須である。本講義では技術英語 (Technical English) とは何かを解説し、技術論文の読解、作成演習、プレゼンテーションを通して、技術英語の継続的な勉強法を習得する。</p> <p>授業の進め方と授業内容・方法： Technical Writing は『技術情報を (研究者・技術者である) 読者にわかりやすく書き表す』技術であり、技術論文の作成、プレゼンテーションや技術討議の基本である。これを習得するために、最新の論文および新聞記事を精読および多読し、基本事項を解説する。他にも、受講者各自の研究内容紹介を英語で作成し、プレゼンテーションを実施する。さらに授業の最初には、英語に関するグループワークを実施するので、積極的に参加することが求められる。</p> <p>注意点： 関連科目 英語および専門基礎科目</p> <p>学習指針 本講義は技術英語の勉強法を習得するもので、受講生は継続的な自己学習が必要である。辞書を使う時には、単語の意味だけに着目するのではなく、それらを用いた様々な例文についても確認すること。そして可能であればそれらを纏めた自分の英文活用ノートを作してほしい。</p> <p>自己学習 到達目標を達成するために、授業の復習を行うこと。また和訳および英作文の課題に関しても授業の資料や関連の論文を参考にし、他者にわかりやすく表現できるように工夫すること。</p>		
<p>〔教科書〕 プリントを配布して講義を行う。</p> <p>〔補助教材・参考書〕 谷口滋次、田中敏宏、飯田考道、J. D. Cox: 『英語で書く科学・技術論文』東京化学同人 (1995). 上田秀樹: 『ネイティブに通じる英文技術文書の書き方』工業調査会 (2006).</p>		
<p>〔到達目標〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 技術英語の基礎となる英文法を理解すると共に、それらを効果的に使い英文が書ける。 2. 技術英文を読んだり書いたりするためには、自身の知識を整理し、新しい表現を覚えることが重要であることについて説明できる。また、質の高い英文とは、内容を効率良く伝えることができる文章であることを理解できる。 3. 技術者・研究者自身が高い水準の英文ライティング能力を身に付ける必要があることについて理解できる。また分野が異なる英文でも専門用語を置き換えることで、有効に活用できることを説明できる。 		
<p>〔評価割合〕 成績は定期試験 2 回の平均 (80 %) に加えて、演習点 (15 %)、プレゼンテーション (5 %) を総合して評価する。</p>		

授業計画

	週	授業内容・方法	到達目標	自己評価*
後期	1 週	ガイダンス	講義の目標や進め方について理解し、研究で取り組む技術的な内容を正確に簡潔な英文にできる。	
	2 週	結果の書き方	表、図、写真で成る結果を示す時、主張したいことが理解してもらえるように配慮するポイントを説明できる。	
	3 週	論文の作成演習 (1)	特別研究の背景、結果、そして考察に関する発表を通して、表現内容について自らが調べて重要な点を説明できる。	
	4 週	考察の書き方	実験結果に対し考察を加え、結論を導く過程が重要であり、英文で纏める際には工夫が求められることを説明できる。	
	5 週	論文の作成演習 (2)	特別研究の背景、結果、そして考察に関する発表を通して、表現内容について自らが調べて重要な点を説明できる。	
	6 週	Eメールの書き方	技術系の英文 Eメールを書く時に守るべきマナーについて説明でき、できるだけ簡潔に用件を書くことができる。	
	7 週	論文の作成演習 (3)	特別研究の背景、結果、そして考察に関する発表を通して、表現内容について自らが調べて重要な点を説明できる。	
	8 週	後期中間試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。	
	9 週	要旨の書き方	要旨では論文に書かれている最も重要なことを余すところなく、的確に表現する必要があることを説明できる。	
	10 週	論文の作成演習 (4)	特別研究の背景、結果、そして考察に関する発表を通して、表現内容について自らが調べて重要な点を説明できる。	
	11 週	タイトルの書き方	適切なタイトルを書けるかどうかは、論文を書く上で重要な問題だということを説明できる。	
	12 週	論文の作成演習 (5)	特別研究の背景、結果、そして考察に関する発表を通して、表現内容について自らが調べて重要な点を説明できる。	
	13 週	印象的論文の書き方	英文法ばかりに囚われた普通の書き方をしている、よい科学論文は書けないことを説明できる。	
	14 週	論文の作成演習 (6)	特別研究の背景、結果、そして考察に関する発表を通して、表現内容について自らが調べて重要な点を説明できる。	
	15 週	学年末試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。	

* 4 : 完全に達成した, 3 : ほぼ達成した, 2 : やや達成できた, 1 : ほとんど達成できなかった, 0 : まったく達成できなかった。